

令和元年度 第55回秋田県病院薬剤師会総会議事録

日時：令和元年5月18日（土）14時30分より15時50分

場所：ホテルアイリス 2階 「菖蒲」

大曲厚生医療センター 遠藤 征裕先生 総合司会の挨拶
開会の宣言 秋田県病院薬剤師会副会長 平泉 達哉先生
会長挨拶 秋田県病院薬剤師会会長 南雲 徳昭先生
来賓祝辞 秋田県薬剤師会会長 大越 英雄先生
祝電披露 由利組合総合病院 伊藤 郁恵先生
有限会社 ひまわり 代表取締役 山田 亮逸様より
議長選出 執行部より雄勝中央病院 高橋 久樹先生を選出
議長挨拶 本会成立の宣言(会員合計 351名:出席者 94名 委任状 213名)
議事録署名人選出 議長より

本荘第一病院 大場 陽子先生、北秋田市民病院 佐藤 家恒先生を選出



議事

<報告事項>

(1) 第58回日本病院薬剤師会臨時総会報告

平成31年2月23日（土）13時30分より16時30分

(長井記念館地下ホールにて開催 南雲 徳昭会長が出席)

秋田県病院薬剤師会会長 南雲 徳昭先生

議題

- 一. 協議事項〔平成31年度事業計画(案)・予算(案) 他〕
- 二. 報告事項〔第2回日本病院薬剤師 Future Pharmacist Forum の開催について 他〕
- 三. 質問事項〔ブロック代表質問等〕

【主な報告事項】

1. 平成31年度事業計画(案)について
2. 医薬品医療機器制度部会のとりにまとめについて
3. 平成32年度診療報酬改定への対応について

(2) 平成30年度会務報告ならびに生涯研修報告

○会務報告

総務委員長 後藤 康晴先生

- ・平成30年度会務報告について
- ・寄贈会報誌の紹介
- ・薬剤管理指導料承認・届出施設41施設、無菌製剤処理料承認・届出施設25

施設、病棟薬剤業務実施加算届出施設 15 施設 (H31.3 月現在)

- ・令和元年度の主な行事について

○生涯研修報告 生涯研修委員長 柳田真樹子先生

- ・平成 30 年度 生涯研修認定申請者は 4 月 12 日現在 68 名
- ・平成 30 年度の日病薬病院薬学認定薬剤師制度の秋田県病院薬剤師会認定研修会の開催件数は、63 件

(3) 平成 30 年度決算報告ならびに会計監査報告

○決算報告 会計委員長 佐々木 修先生

- ・予算額(収入)12,750,725 円に対して決算額(支出)9,160,301 円

収入の部では、

- ・会費は特別会員 A19 名を含む 97 名特別会員 B7 名で 1,005,000 円
- ・賛助会費が 2 万円×70 社で 1,400,000 円
- ・総会会費は 1,020,000 円
- ・三者協議会の参加費が懇親会参加者 1 万円 (156 名) 他で、1,568,000 円
- ・県薬補助金が 1 万円×271 名で 2,710,000 円
- ・日病薬交付金が 8 千円×0.17×375 名で 510,000 円
- ・生涯研修事務費は 146 講座で 1,460,000 円
- ・雑収入が 645,020 円

支出の部では、

- ・日病薬負担金が 375 名分、他で 3,024,000 円
- ・総会費 1,685,474 円、役員会費 467,248 円 (理事会 5 回、臨時役員会等)
- ・三者協議会は、1,294,235 円
- ・会報・名簿費は、名簿、秋病薬報 2 回、前年度会報 1 回で、1,284,120 円
- ・通信費 171,000 円、事務費 171,445 円
- ・県内薬剤師研究会 (4 研究会) への補助金が 200,000 円
- ・支出合計が見かけ上少なくなっているが、次年度の特別事業積立金の関係であり、実際は例年とほぼ変わらぬ額である。

秋田県病院薬剤師会財産目録の紹介

- ・金庫 1 個、マルチプリンタ 1 台
- ・特別会計積立金 (北都銀行普通預金) 1,607,790 円

○会計監査報告 監事 福岡 英喜先生

現金出納台帳、領収書綴り、普通預金通帳、現金等について突合せを行ったところ、いずれも適正に処理されていたとの報告があった

*議長より決算報告ならびに会計監査報告について拍手にて承認を求められ、賛成多

数とみなし平成 30 年度決算報告ならびに会計監査報告は承認された

(4) その他

○薬剤業務委員会報告 薬剤業務委員長 木村 正行先生

平成 30 年度秋田県病院薬剤師会 プレアポイド報告集計結果

- ・平成 30 年度に薬剤業務委員会へ報告されたプレアポイド件数は 366 件
- ・平成 28 年は 558 件、平成 29 年は 532 件で、前年度より 3 割以上減少した

○令和元年度病院実習調査結果の報告 会長 南雲 徳昭先生

- ・令和元年度はマッチングの結果 31 名を予定
- ・令和元年度の受入れ調査では、第Ⅱ期 33 名、第Ⅲ期 37 名、第Ⅳ期 24 名であった。

○日本病院薬剤師会東北ブロック第 9 回学術大会(秋田)について

- ・第 9 回学術大会は平成 31 年 6 月 1 日(土)、2 日(日)に秋田キャッスルホテル、にぎわい交流館、秋田県立美術館を主会場に開催予定である。

<協議事項>

(1) 令和元年度事業計画(案)ならびに令和元年度予算(案)

○令和元年度事業計画(案) 会長 南雲 徳昭先生

1. 医療の質の向上への貢献
2. 医療安全対策の推進
3. 医療連携の推進
4. 病院・診療所および介護保険施設などの薬剤師業務の実践
5. 生涯教育・研修・学術活動の推進
6. 認定薬剤師・専門薬剤師の認定事業の実施
7. 薬剤師養成のための薬学教育への協力
8. 組織体制および運営の強化

○令和元年度予算(案) 会計委員長 佐々木 修先生

- ・予算額(収入) 13,637,224 円と昨年度実績に基づき設定した

収入の部では、

- ・前年度繰越金は、特別積立金を含み 3,590,424 円
- ・会費は、特別会員を含め 110 名で、1,100,000 円
- ・賛助会費が、70 社で 1,400,000 円
- ・特別会費は総会参加 85 名を見込み 1,005,000 円、三者協議会は 140 名、1,400,000 円で計 2,405,000 円
- ・県薬補助金、270 名分で 2,700,000 円
- ・日病薬交付金が 380 名分で 516,800 円
- ・生涯研修事務費は昨年度の実績から 130 講座を見込み 1,300,000 円

・雑収入は 600,000 円

支出の部では、

- ・日病薬と東北病薬の負担金が、3,210,000 円
- ・会議費が総会費と役員会費で 2,550,000 円
- ・事業費は、委員会費、学術講演会費、三者協議会費、会報・名簿費で、3,700,000 円
- ・特別事業積立金は第 9 回東北ブロック学術大会準備資金（前年度予定分含）で 2,500,000 円とした

*議長より令和元年度事業計画（案）ならびに予算(案)について拍手にて承認を求められ、賛成多数とみなし令和元年度事業計画（案）および予算（案）は承認された

(2) 令和元年度・2 年度日本病院薬剤師会代議員及び補欠の代議員の選出について

戸舘輝人 選挙管理委員長

秋田県の日本病院薬剤師会代議員、補欠の代議員の定数は各 1 名。任期は令和元年 7 月 1 日から令和 3 年 6 月 30 日の 2 年間。代議員及び補欠の代議員の選出にあたり、事前に会員施設に日病薬代議員の立候補についてのお知らせを送付し、4 月 1 日から 4 月 15 日の期間公示し立候補を募った結果、日本病院薬剤師会代議員に市立秋田総合病院の南雲徳昭先生、補欠の代議員には秋田大学医学部附属病院の三浦昌朋先生がそれぞれ立候補している。立候補者が定数と同数のため、投票は行わず、正会員の決議により決定することになっている。

*議長より拍手にて承認を求められ、賛成多数とみなし、日本病院薬剤師会代議員に市立秋田総合病院の南雲徳昭先生、補欠の代議員には秋田大学医学部附属病院の三浦昌朋先生が選出された

(3) その他

特になし

<次期開催地担当者挨拶>

中央地区担当 後藤 敏晴先生

- ・第 56 回秋田県病院薬剤師会総会は、開催日は未定であるが秋田市で開催することを予定している

閉会の宣言 総合司会 遠藤 征裕先生が閉じる

以上

令和元年 5 月 20 日

議事録作成者 熊谷 憲晃（由利組合総合病院）



プレアボイド優良事例報告賞
金子ちさと先生（市立秋田総合病院）



学術奨励賞
田村直斗先生（能代厚生医療センター）



優良発表賞
吹矢真紀子先生（秋田県立循環器・
脳脊髄センター）
門田祥吾先生（市立秋田総合病院）
梅田慎也先生（市立秋田総合病院）



臨床薬学賞
鏡屋舞子先生（秋田大学医学部附属病院）



秋田県病院薬剤師会賞
近藤靖先生（前秋田県立リハビリテーション・精神医療センター薬局長）



特別講演

土屋文人先生（国際医療福祉大学薬学部特任教授）



記念撮影

懇親会

